

平成23年度第3回北海道地方独立行政法人評価委員会
試験研究部会 議事録要旨

-
- 開催日 平成23年8月12日（金）13:30～15:10
○場所 北海道庁別館5階9号会議室
○出席者 （委員）石橋部会長、安達委員、北野委員、旗本委員、細川委員
（事務局）総合政策部科学IT振興局総合研究機構運営支援室 関下参事、成田主幹、戸田主幹
- 議事 （1）平成22年度 地方独立行政法人北海道立総合研究機構の業務実績に関する評価結果（案）について
（2）平成22年度 地方独立行政法人北海道立総合研究機構の財務諸表及び利益処分案について
（3）その他
- 資料 資料1 平成22年度地方独立行政法人北海道立総合研究機構の業務実績に関する評価結果（案）
資料2 平成22年度地方独立行政法人北海道立総合研究機構の業務実績に関する評価結果（案）新旧対照表
資料3-1 平成22年度財務諸表の概要（案）
資料3-2 平成22年度利益処分に係る知事の承認（経営努力認定）の概要（案）
資料4 平成23年度北海道地方独立行政法人評価委員会試験研究部会の視察について
参考資料1 北海道地方独立行政法人評価基本方針
参考資料2 北海道立総合研究機構年度評価実施要領
-

（事務局）

●開会

（部会長）

●部会長挨拶

開催にあたりご挨拶申し上げます。委員の皆さまにおいては、お忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。

本日は、平成22年度地方独立行政法人北海道立総合研究機構の業務実績に関する評価結果案と、財務諸表と利益処分案を議題として、審議を進める。初めての年度評価の結果をまとめるにあたり、限られた時間ではあるが、客観的かつ中立公正な立場から、活発かつ率直な論議と審議をしてまいりたいと考えているので、委員の皆様のご協力をお願いしたい。

- （1）平成22年度 地方独立行政法人北海道立総合研究機構の業務実績に関する評価結果（案）について

（部会長）

●議事（1）について進めていく。

本日の協議によって、議論を尽くし、試験研究部会としての結果をまとめ、それを最終結果としたいと考えている。評価結果案は、前回実施した法人からのヒアリング、審議を経て、部会として決定した各項目の評価を踏まえ、委員意見を反映しながら、事務局で評価結果案としてとりまとめたものである。

それでは、事務局から説明をお願いしたい。

（事務局）

- 資料1、資料2に基づき説明

(部会長)

- 今の説明について、補足説明等あるか。

～委員から補足説明等なし～

(部会長)

- 特になければ、評価結果案について、順に確認を行っていきたい。
最初に、「評価に当たっての基本的な考え方」の記載内容等について、意見等あるか。

(委員)

- 前回部会において、他の委員からも法人の理念はしっかりしたものだという意見があり、自分自身、理念を実現していくということが、評価をしていく上での柱になると考えており、それをより明確にするということと、最初の評価であるという観点から、理念を文章として記載したいという思いから、提案させていただいた。

(委員)

- 「設立理念」ではなく、道総研で使用している「基本理念」と記載してはどうか。

(部会長)

- では、「基本理念」と訂正することでよろしいか。

～委員同意～

(部会長)

- また、委員から、「目次」の順番について、全体評価と項目別評価の順番を入れ替えた方が良いという意見があったが、昨年度部会で決定したものであり、公立大学部会や他県等の状況も踏まえて、訂正せずこのままで良いと思うがよろしいか。

～委員同意～

(部会長)

- 次に、「全体評価」の記載内容等について、意見等あるか。

(委員)

- 先程の意見と同様の考え方から、「上記の法人理念」を「上記の基本理念」に訂正した方が良いのではないか。

(委員)

- 「上記法人の基本理念」の方が良いのではないか。

(部会長)

- では、「上記法人の基本理念」と訂正することでよろしいか。

～委員同意～

(部会長)

- 次に、「項目別評価」の記載内容等について、意見等あるか。

(委員)

- 第1の分野は項目数の約8割を占めている分野で、それに見合った記載が必要ではないか。研究推進項目は、専門的で我々は評価しづらい部分もあるが、「研究の推進」の部分が記述が少ないのではと思い、提案させていただいた。

(部会長)

- 法人の自己評価もそれほど具体的に記載されていないので、記載しづらい部分もあるかと思うが、来年度以降、具体的に記載していただけるかわからないが、改善していかないとならないだろう。では、「研究の推進」については、主な取組を各分野毎に1項目ずつ記載することでよろしいか。

～委員同意～

(部会長)

- 他に意見等無いか。

(委員)

- 一点気になったのが、4 広報機能の強化において、「各研究本部及び本部」という記載はわかりづらいので、「各研究本部及び法人本部」としてはどうか。

(部会長)

- この部分以外にも、多々このような記載がある。では、「各研究本部及び法人本部」という記載でよろしいか。

～委員同意～

(部会長)

- 他に該当する部分は、事務局において訂正願いたい。
- 次に、2 業務の適切な見直しにおいて、B評価とした理由の記載が、公的な報告書としていかなのかのと思い、「実施したアンケートの結果をどう活用したか不明のため」を、「アンケート結果が十分に活用されていないため」とする提案をさせていただいた。

(委員)

- 表現が前よりも少しきつくなったような印象を受ける。

(部会長)

- 表現としては、明確に理解できるのではないかと思う。では、「アンケート結果が十分に活用されていないため」という記載でよろしいか。

～委員同意～

(部会長)

- 最後に、「項目別評価（総括表）」の記載内容等について、意見等あるか。
- 公立大学部会は、B評価の理由は記載していないということでよろしいか。

(事務局)

- その通り。

(委員)

- 資料1の15Pの最後の行は、ピリオドではなく読点ではないか。

(事務局)

- 訂正する。

(部会長)

- それでは、以上の修正等を行い、当部会の評価結果として30日に開催する、親会である北海道地方独立行政法人評価委員会に報告し、法人への通知、知事への報告、さらには一般道民への公表用とすることでよろしいでしょうか。

(2) 平成22年度 地方独立行政法人北海道立総合研究機構の財務諸表及び利益処分案について

(部会長)

- 議事(2)について進めていく。事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

- 資料3-1、資料3-2に基づき説明。

(部会長)

- 今の説明について、意見等あるか。

(委員)

- 資料3-1について、いくつか訂正がある。貸借対照表については、日付と、合計について何の合計が記載すること。また、損益計算書と行政サービス実施コスト計算書の合計は不要かと思う。キャッシュフロー計算書の資金期末残高については、「その他定期預金350があり、貸借対照表の現金預金と一致する。」という記載が、財務諸表上、適切かと思う。

(事務局)

- 了解。

(部会長)

- では、財務諸表及び利益処分案について、意見等なしということによろしいか。

～委員同意～

(3) その他

(部会長)

- 議事(3)について進めていく。事務局から説明願いたい。

(事務局)

- 資料4に基づき説明。

(部会長)

- 今の説明について意見等あるか。

(委員)

- 昨年、林産試験場に視察に行ったので、今年度は水産試験場が良いのではないか。

～委員同意～

(部会長)

- それでは、今年度の視察先は水産研究本部・中央水産試験場に決定する。

(事務局)

- 閉会